



江崎 貴大 議員
無会派

問 地域特性に応じたまちづくりは

答 立地や特徴を生かした土地活用



問 居住地の確保は。
答 (建設部長) 弥富駅周辺、車新田地区で検討。
問 弥富駅周辺の賑わいをどう創出するか。
答 低未利用地の都市的な土地利用への転換など、地域経済が活性化する効果を期待。
問 市民や民間の活力をどう活かしていくか。
答 オープンスペースの整備を検討。
問 弥富駅周辺地区の整備に関し、課題と実現する可能性は。
答 土地所有者の理解が必要。実現性の高い、小さな整備範囲で検討。
問 現状を踏まえて今後のまちづくりへの市長の想いは。

答 (市長) 快適に暮らせるコンパクトな都市づくりを実現する。
問 空き家の活用に関し、今後どのような取り組みが必要か。
答 (建設部長) 空き家バンクを有効に活用し、空き家の利活用を推進。
問 伝統文化芸能の継承に関し、市長の認識と今後の課題・解決策は。
答 (市長) 補助金の条件緩和を行い、多くの地区に助成できるように努めている。解決策を考えていく。
問 市長の考える「住」「農」「産」空間の今後の方向性は。
答 それぞれの地域の立地や特徴を生かし、適切な土地利用を進める。

問 誇りの持てるまちづくりを

答 本市の魅力を市内外に発信

問 本市の人口はどのような推移していく見込みか。
答 (総務部長) 令和42年には約37600人まで減少と推計。
問 年代別人口はどのように推移していく見込みか。
答 年少人口は対策により維持。老年人口は令和27年頃から減少に転じる。
問 流出を防ぐ方策と、今後検討すべき事業は。
答 多様な主体が連携・協力できるネットワークを構築。市と市民との協働による地方創生に取り組む。
問 流入を増やす方策と、今後検討すべき事業は。
答 結婚・子育て関連施設施策をさらに充実させ、切れ目ない支援を推進。



問 現状を踏まえて今後のまちづくりへの市長の想いは。
答 (市長) シビックプライド(市民の誇り)の醸成に取り組み、シティブロモーションなど、魅力を発信する。
問 若者世代の意見をどう反映させていくのか。
答 (総務部長) 若手職員と市民の若い世代によるワークショップを開催し、後期基本計画に反映。
問 どのような考えで諸政策に重点を置き、対応していくのか。
答 市民等との協働を重点的に取り組む。
【その他の質問】
除草について